

第11回

[日 時] 平成28年11月19日（土） 18:30-20:30

[場 所] 石巻専修大学5号館 3階学生ホール

[使用したテキスト]

- ・『耕人』5-6.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

○塾長挨拶



30名の塾生が参加し、指導委員・指導補助員さらには末永様をはじめとする運営委員、たくさんの塾生が参加した石巻北高校飯野川校の副校長先生や保護者・留学生の皆様に見守られ、塾長の前に全員起立。鈴木観大君（渡波中2年）の「よろしく申し上げます」の声で、閉塾式が始まりました。

木村民男塾長からは、「情熱（人を動かすためには情熱がなければならない。）・行動（考えていることを行動に移すことが大切。そこから学ぶものが多くある。）・継続（耕人塾で学んだこと・考えたこと・実践したことを継続することによって学ぶべきことが新たに生まれてくる。）」という三つの大切なキーワードが伝えられました。

引き続き、指導委員遠藤知子先生より、本日の流れについて、以下のような確認が行われました。特に、「問3」については、ホワイトボードに書き込み、全体発表の中で班の考えを述べるとともに、個人としても第1回耕人塾で書いた目標（画用紙に書かれたものが返却される）がどれだけ到達されたのかにも触れるように指示が出され、班活動に入りました。

第5期耕人塾を振り返って

話し合いの形態：個（15分）→班（15分）→全体（45分）

問1 耕人塾で得たもの

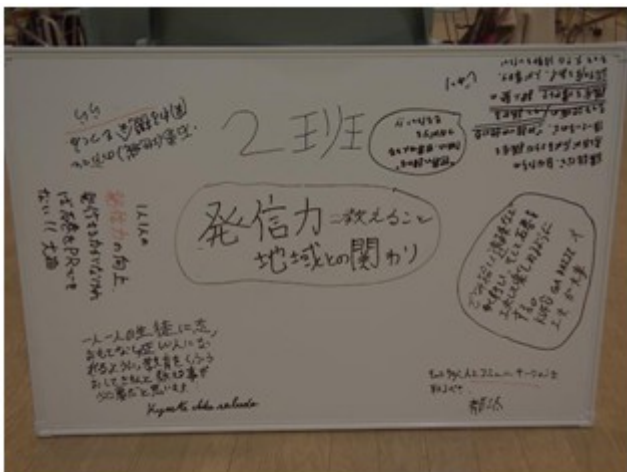
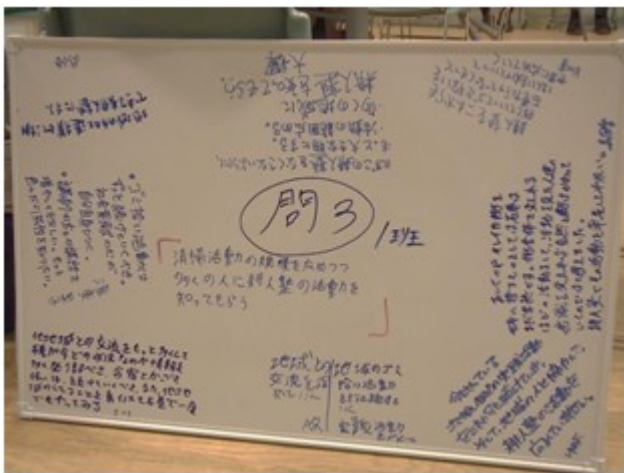
- ・班活動を通して
- ・講師の話を聞いて

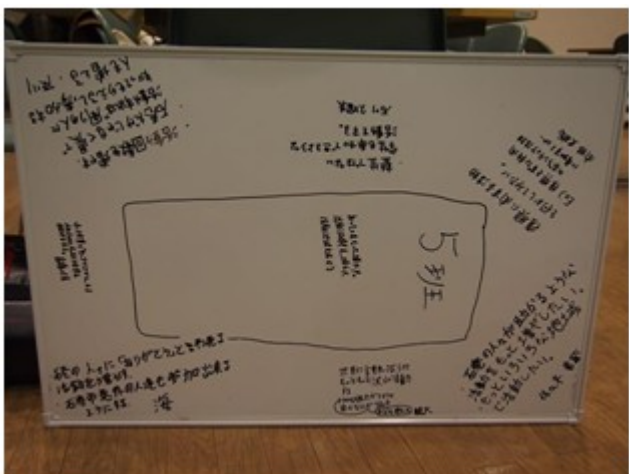
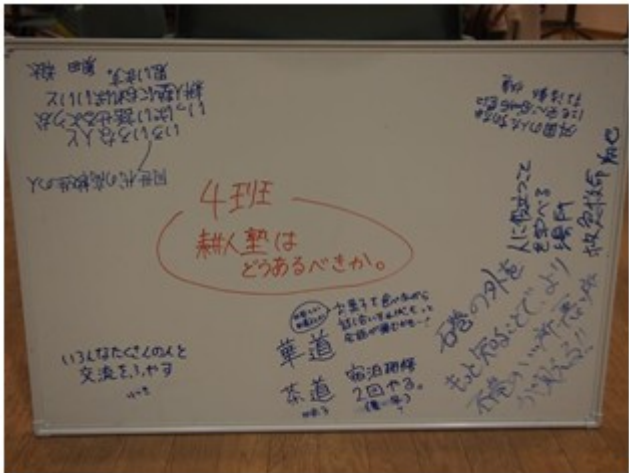
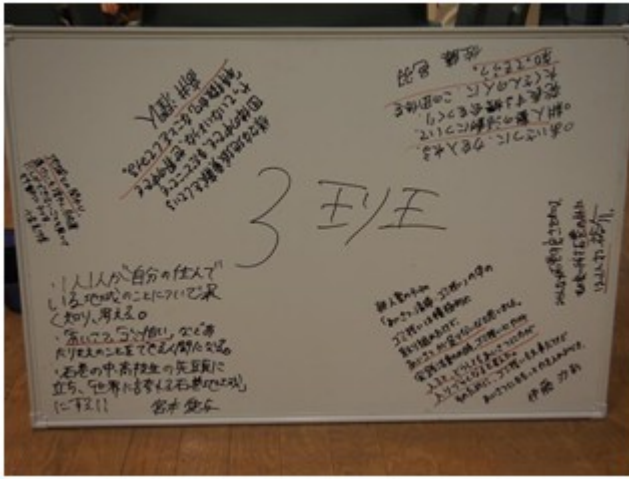
問2 耕人塾で自分自身が成長した点。
 耕人塾が自分自身の成長にどうつながったか。

問3 「世界に誇れる石巻地域」のために、これから耕人塾はどうあるべきか。



班活動の中でホワイトボードに書かれた「問3 『世界に誇れる石巻地域』のために、これから耕人塾はどうあるべきか。」の内容。





○全体発表



<1班の発表> ◎：班全体 ○：個人

◎清掃活動の規模を広めつつ、耕人塾の活動を多くの人に知ってもらおう。

○ゴミ拾いやいろいろな講師の先生の話聞いて、自分自身のレベルアップにつながった。参加して本当に良かった。

○積極的に物事を考え行動できるようになった。今後の進路選択に役立てたい。

○成長したことは、積極的に行動できるようになったことである。これからも生かしていきたい。

○他の人との交流を通して、自分の考えを吟味し深く考えられるようになった。

○昨年とは違った活動もあり、班で協力することによって、無茶ぶりにも対応できることが分かった。来年も参加したい。

○何回か来られない時もあったが、人前で話すことが苦手だった自分が、積極的に行動できるようになってきた。

○講話に対して自分の意見が持てるようになったこと。班で交流することによって、新しい発見があり、合宿などで新しい人との交流も生まれた。

○体験を積むことによって、いろいろな目線で石巻を見つめられるようになってきた。社会に貢献する活動を続けたいので、来年もぜひ参加したい。

<2班の発表> ◎：班全体 ○「：個人

◎「何かをしたいと思っても一人ではできないので、人から人へと発信していく力を身に付けること。」「地域との関わりを深めていくこと。」が大切である。

○3回目の参加です。講師の先生から、人生で大切なものは何かということ学ぶことができた。来年も参加したい。

○人とのかかわりは難しいが大切なことであり、学んだことを改めて社会に出て役立てていこうと考えました。考えた

○苦手な日本語に対して、新しい発見がありしゃべり方も変えていくことができた。楽しかった。

○土田畑村での絆、コミュニケーション、茶道での「お先に」という言葉の使い方など、3年生になってからも、就職してからも使っていけるということを学んだ。

○思いやりの気持ちに欠けていたが、耕人塾に参加してその大切さを知り、少しずつ他の人の気持ちを考えられるようになってきた。感謝している。来年も参加したい。

<3班の発表> ◎：班全体 ○：個人

◎当たり前のことを当たり前にやっていくこと。当初、ゴミ拾いは自分でやるべきことと考えていなかったが、挨拶・ゴミ拾いなどの実践活動を通して変わっていった。また、地域社会との連携を強めて、耕人塾としても特徴的な活動を行い、石巻の良さを世界に発信していくことが大切だと考えた。

○人前で話す力が、少しずつついてきて、いい経験となった。

○様々な分野の人の話を聞いて、世界観が広がった。違う学校や学年の人と関わることで、広いコミュニケーション力がついてきた。

○自分の意見をしっかり持つことができるようになってきた。自分を高めることもできた。参加してよかった。

○講師の先生からのお話を聞いて、自分の思っていることの視野が広がった。耕人塾で学んだことや実践したことを家に戻っても学校に行っても実践できるようになってきた。

○中学2年の一期生から5年間耕人塾に来ている。当初、講師の先生のお話を聞くだけで精一杯だったが、人前で話をしたり、学年が上がるにつれて率先して意見を述べたりまとめたりする力が身に付いてきた。あいさつやゴミ拾いという当たり前と感じられるような実践活動を積み重ねることによって、地域貢献として生かしていく大切さを学んだ。

<4班の発表> ◎：班全体 ○：個人

◎同世代の人が外国人の方と交流いろいろな人と話せるようになること。救命救急など人の役に立つ活動を行うこと。

○いろいろな人と話せるようになった。

○人への気持ちなど心の場面の大切さを知った。

○講師から聞いた「行動することの大切さ」が、人生に生かせると考えた。

○矢本でボランティア活動をしたときに、知らない人から声をかけられた。広まってきていることを感じるとともに活動の内容を的確に説明する責任も感じた。

○人前で話すことが苦手と怖く感じていたが、少しずつ話せるようになり自信を持てるようになってきた。楽しい活動の一年間だった。

<5班の発表> ◎：班全体 ○：個人

◎活動を広げる。あいさつなど基本的な行動をしっかりとる。自分を磨くだけではなく、他のことにも目を向けていく。地域の人々の笑顔になっていく。

○少しずつ積極的になってきた。地域の清掃活動などにも参加し、人前で話す機会も増え、自信がついてきた。

○相手の意見に流されてしまっていたが、いろいろな先生の話などを聞いて、自分の考えをもち、人に言えるようになってきた。来年も参加したい。

○人との関わり方の大切さを知った。意見交流の中から、一人ではわからないことも、改めてわかる機会に恵まれた。

○もっと早く参加していればよかった。普段やらなければいけないところで何気なくゴミ拾いをすることもできた。講師の先生の話やゴミ拾いなど、進路に生かされた。こういう経験を支えてくださった皆さんに感謝したい。これからも活動を続けていきたい。

○苦手であったことも積極的に表現できるようになってきた。友達や仲の良い人も増えた。

○積極的に行動できるようになってきた。

○様々な体験を通して、志をもつことの意味や大切さが理解できた。少しずつ積極的になり、生活にも生かせるようになってきた。

※塾生の書いた「問1・2・3」の用紙を回収し、コピーを取り、今後の耕人塾の活動に生かしていくため平塚委員長が保管する。用紙は、コピーしたのち、塾生に戻される。

○講評「励ましの言葉」(人間学部長 山崎 省一氏)

耕人塾の第一期から立ち会い、塾生の皆さんが、「何を感じ・考えているのか」気になっていたが、発表を聞いてうれしくなった。短時間での振り返りであったので、ぜひ家に帰ったら、もう一度ゆっくり考えてほしい。違った感じ方を発見するはずである。考え続けていただきたい。何を考えるかは自分で考えてほしい。陸上競技をやっていた自分は、「強くなりたい。勝ちたい。記録を作りたい。」と願ってトレーニングに励む。しかし、結果が出ず伸び悩むこともあった。その時、新聞や本を読み、先生や友達や同じ競技選手に話を聞いた。解決するヒントがいっぱいある。しかし、感ずるかどうかは、考えているかどうかで決まると思う。考え続けるということをぜひ生活の中で継続していくことを願っている。



○塾長より、修了証授与

参加した30名の塾生一人一人に、畠中隆廣先生直筆の修了証が、塾長より手渡されました。平塚真一郎指導委員長から、授与に先立ち、「返事は武器になる」とのキーワードを交え、立ち方・姿勢など指導がなされました。



○木村塾長より 講話：「自分をつくるのは自分」

耕人5-6号でも触れた「自主・自律・品位」とは、石巻中学校の校長時代に新たな生徒像として掲げたものであり、最初は体育館に掲示し、次の校長先生により屋上に掲示されるようになった。

どこから見ても、だれが見ても、好ましい心と形を身につけてほしい。そして、悩みにどう向き合うか。努力してもどうしようもないものや境遇は素直に受け入れ、自分で何ができるのかを考える。みんなで考えることも大切だが一人でじっくり考え、反芻してみる。そうすることで必ず灯りが見えてくるので、自分で切り拓いていく。また、善い行いを一生懸命すると必ず応援してくれる人が出てくる。自分で自分を作り、中核となって活躍してほしい。

○写真撮影



メニュー

ホーム	▼
耕人塾の活動	▼
令和2年度の活動	>
令和元年度の活動	>
平成30年度の活動	>
平成29年度の活動	>
平成28年度の活動	▼
第1回	
第2回 実践活動	
第3回	
第4回 実践活動	
第5回 実践活動	
第6-7回 宿泊研修	
第8回	
第9回 実践活動	
第10回	

第11回

平成27年度の活動



平成26年度の活動



平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞